

1. 自己評価及び外部評価結果

作成日 平成22年 7月 10日

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	第4670200577号
法人名	有限会社 あおい介護福祉会
事業所名	グループホーム あおいの家
所在地	鹿児島県薩摩川内市隈之城町1248-1 (電話)0996-20-3221
自己評価作成日	平成22年6月1日

事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	http://www.kagoshima-kaigonet.com
-------------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	特定非営利活動法人NPOさつま
所在地	鹿児島県鹿児島市下荒田2丁目48番13号
訪問調査日	平成22年6月29日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

家庭の延長と、隠居にきているような環境の中で、笑顔をどれだけ引き出せるか、安心して暮らしてもらえるかをテーマに力を入れています。入居者の笑顔を見てホームの雰囲気を感じてください。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

薩摩川内市郊外の閑静な住宅地に、付近の民家に溶け込んで当ホームがある。玄関、ホール、廊下、トイレ、居室等すべてが広々と作られており、ホームの端から端まで歩くだけで、日々の歩行訓練と適度な運動になっている。
「利用者の笑顔」「安心した生活」「いい環境」「思いを大切に」の理念のもとに、職員は利用者寄り添い、思いを共にすることを心がけて日々関わり、家族のような気持ちで喜怒哀楽を共にしている。利用者の笑顔が職員の励みにもなり、仕事への意欲へとつながって、離職も少なく、職員と利用者は馴染みの関係が保たれ、利用者を人生の先輩として学んだり、支え合う関係を築いている。管理者、職員は介護等知識、経験が豊富で職員のチームワークも良く、本人、家族との信頼関係を構築している。開設して8年になるが、更に充実したグループホーム運営が期待される。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
. 理念に基づく運営					
1	1	理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている	ゆったりとした環境の中で地域、家族、職員皆で生活を支えながら、事務所内、ホールにも理念を掲示していつでも確認できるように配慮している。利用者の笑顔を引き出すために。	「笑顔」「安心」「いい環境」「利用者の思い」を盛り込んだ理念を作成している。ホールと事務所に掲示して、ミーティング等で理念を確認し、職員は理念を共有して実践につなげている。	
2	2	事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	自治会にも加入し、地域の行事にも参加したり、ふれあいサロンや地域の方との芋ほりなどに参加し、交流をふかめている。また近所から野菜を頂くなどつながり深まっている。	職員所有の畑の芋掘りに参加して地域の方々と交流したり、夏休みに近所の小学生が遊びに立ち寄ってくれるなど訪ねやすい雰囲気ができている。利用者の高齢化に伴い、外に出ていくことがなかなか困難になってきているため、ホームをサロンの場として開放することなどの提案を自治会にしている。	地域交流のあり方を運営推進会議でもテーマにあげており、災害対策の協力や、自治会の会合等で積極的に働きかけるなど、利用者が地域と繋がりがながら暮らし続けられるような工夫を期待したい。
3		事業所の力を生かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている	利用者の日常支援を基盤に、地域の方々の訪問等の機会に、認知症のことなどについても説明したり、相談を受けるようにしている。又、制度説明も機会あるごとにやっている。		
4	3	運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	事業所の状況報告後、地域交流のあり方について、年間テーマとして意見交換、情報を頂きながら参加したりしている。又、市の介護保険担当職員も、昨年10月より委員として参加お願いしている。	民生委員、地域婦人部、家族代表、行政の参加を得て概ね2カ月に1回開催している。ホームの状況報告や水害時の避難方法などが話し合われている	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
5	4	市町村との連携 市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	保険者主催のサービス提供事業者連絡会にも必ず出席し、連携を図っている。又入居者や家族の相談なども色々な機会を通じて情報や指導をうけるようにして、関係作り大切にしている。	入居についての相談や情報なども含めて、連携を図り協力関係を築いている	
6	5	身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	ホーム発足時より、身体拘束については絶対しないことを目標に現在に至っている。職場での勉強会も含めて学習の機会作っている。なお玄関の施錠については安心安全なサービスが出来ない場合は重要事項説明で明記、了解取るようにしている。	身体拘束をしないケアの実践に取り組んでいるが、自傷他害の利用者など、やむをえない場合は家族の了承のもとに玄関に施錠をすることもある。特別な場合を除き、平常は鍵をかけず、帰宅願望の利用者についても職員がさりげなくついて行き見守っている。	
7		虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	虐待防止については職場での研修を通じたり、虐待をしないさせない見逃さないを目標に、特に施設で起こりがちな心理的虐待が見過ごされないように職員間で注意を払い防止に努めている。		
8		権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	支援を必要とする場合は、支援できる体制にある。又これからも勉強会を通じて制度を理解したい。現在は該当者なし。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
9		<p>契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p>	<p>特に入居時、契約をする時点で事業所の考え方や、利用者、家族の意見など伺いながら、入居中起こりうるリスク、重度化、看取り等についての対応など、重要事項説明を含めて納得してもらうようにしている。</p>		
10	6	<p>運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>日常生活の中での言動や態度日頃の会話から、その想いを推察する努力をしている。又、苦情受付の体制も出来ており、色々な機会を通じて家族とも話し合える機会を作っている。相談も受けられるようにしている。</p>	<p>来訪時や敬老会を兼ねた家族会の際に、意見交換会の時間を設けている。重要事項説明書に、苦情受付窓口として第三者委員も明記している。</p>	
11	7	<p>運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている</p>	<p>月、1~2回のミーティングや、都度提案等があれば話を聞けるようにしている。具体的な運営に関する意見はまだ少ない。</p>	<p>仕事の内容（利用者へのケア等）については、普段から意見・提案が出て全員で話し合っている。入居時にも利用者についての情報を提供して、職員から意見をきいている。職員の離職は少なく、半数以上の職員が5年以上勤務している。</p>	
12		<p>就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている</p>	<p>代表者も現場に良く顔を出しており、職場での色々な状況について報告を受けながら、実情を理解している。事業も独立採算の中で厳しい状況にあるが、処遇についても出来るだけ配慮しているつもりである。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
13		<p>職員を育てる取り組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>職場研修を基本にしながら、外部での研修を受けたものが持ち帰り、ミーティングを通じて報告学習する機会にしている。外部研修にしても出来るだけ参加するよう指導している。</p>		
14		<p>同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>外部の研修の場において、グループワークなど交流の機会は少しずつ増えているが、相互訪問については市内の施設へ訪問希望していたが、タイミングが悪く21年度は実施できていない。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		<p>初期に築く本人との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている</p>	<p>殆どの入居者は、何故私はここに居るのだろうかから始まる方が多く、入居の認識なく朝来て夕方家に帰るといった生活パターンから、夕方には混乱が始まる。不安、焦燥、混乱など本人の想いを優しく傾聴し、安心と信頼の関係作り大切にしている。</p>		
16		<p>初期に築く家族等との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている</p>	<p>入居されるまでのことを親密に伺い、施設に家族を預けることに対する悩みや、不安を抱えておられ、家族の想いや悩みも一緒に悩み、思いを聞くようにしている。ホームでの対応も事前に話し合うようにしている。</p>		
17		<p>初期対応の見極めと支援</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている</p>	<p>家族及び、本人からその想いや状況を確認しながら、そのケースによっては行政や他施設へも、一緒になって相談したりしている。</p>		
18		<p>本人と共に過ごし支え合う関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている</p>	<p>人生の先輩と共に暮らす、という考え方で本人が地域でその人らしく暮らしていただくために、ご本人の生活歴の中から、教えてもらったり、お互い支え合って生活してもらっている。</p>		

鹿児島県 グループホームあおいの家

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		<p>本人と共に支え合う家族との関係</p> <p>職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている</p>	<p>本人にとってどのようにしてあげれば良いかを家族とも話し合いながら、お互いの立場に立ってその想いを共有して、本人にとってどうかを判断材料として、入居者を支援している。</p>		
20	8	<p>馴染みの人や場との関係継続の支援</p> <p>本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている</p>	<p>一人一人の想いを大切に本人の行きたい所や、会ってみたい人など、昔住んでいた周辺や墓参りなど、希望があれば出かけて行く機会を作るようにしている。</p>	<p>友人の訪問やこちらから訪ねて行くなど、関係継続の支援を行っている。</p>	
21		<p>利用者同士の関係の支援</p> <p>利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている</p>	<p>一日の生活の流れの中に、皆と一緒に過ごす時間や、お互い話し合える環境作りと、それに馴染めない人が孤立しないように共に暮らせる楽しみを支援している。</p>		
22		<p>関係を断ち切らない取り組み</p> <p>サービス利用 契約 が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている</p>	<p>色々な事情でやむなくサービスの終了された方も、家族とも話し合いながら次の施設の受け入れなど、相談手続きをして最後まで継続的な付き合いが出来るように心がけている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	<p>思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。</p>	<p>自分の思いを話せる方は、その人らしく暮らしていただけるよう支援している。思いや希望の聞けない方は、日常の生活の中での会話や表情などからその想いを推測し、その人の立場に立って支援している。</p>	<p>日常の関わりの中での気づきなど、朝のミーティング、申し送りノート、ケア日誌等で職員は利用者の状況、思いや意向など情報を共有して本人本位に検討している。</p>	
24		<p>これまでの暮らしの把握</p> <p>一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている</p>	<p>利用者の生活歴や暮らし方、生活の環境など、家族や関係者から情報をもらい、ご本人にとって何が必要かを現在の生活の中で生かせるようにしている。</p>		
25		<p>暮らしの現状の把握</p> <p>一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている</p>	<p>一日一日の心身状態について、スタッフ間で情報交換しながら生活の中で、その有する力の発揮が出来るように支援しながら、出来ない事への支援についても検討するようにしている。</p>		
26	10	<p>チームでつくる介護計画とモニタリング</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している</p>	<p>全ての必要な関係者が集まることは出来ないが、本人家族の意向を踏まえ職員が意見を出し合い、主治医の記録も参考にしながら、作成している。</p>	<p>本人、家族、職員、主治医の意見等を反映させた介護計画を作成している。地域との交流の機会としてサロンへ出かけるなどの計画を取り入れている利用者もいる。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		<p>個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている</p>	<p>朝のバイタルチェックから入浴など、職員の気付きや状態変化など、一人一人の看介護、観察記録を記入し、その内容について職員間で共有しながら、日々のケアに生かしている。</p>		
28		<p>一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる</p>	<p>入居者、家族の希望状況に応じて、日々の生活がスムーズに出来るように又、変化が生じた場合柔軟に対応できるように支援している。</p>		
29		<p>地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らし方を支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している</p>	<p>ホームでの生活に専門分野の協力をもらいながら、地域との交流やボランティアなど暮らしを楽しむことを目標に、支援しているが、周辺施設からの理解協力ももらえるよう取り組みたい。</p>		
30	11	<p>かかりつけ医の受診支援</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるよう支援している</p>	<p>本人や家族の希望するかかりつけ医を主体に、専門医療以外の診療については、了解が得られたらホームの協力医療機関を主治医としていただき、緊急時も往診していただけるようお願いしている。</p>	<p>事業所の協力医の他、本人、家族の希望するかかりつけ医の受診を支援している。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<p>看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している</p>	<p>ホーム内で看護師の配置は特に出来ていないが、日々の生活の中で入居者の変化や気づきについて、勤務している職員で対応、管理者を中心に適切な受診、看護が受けられるよう支援している。</p>		
32		<p>入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている</p>	<p>入院に際しては本人の支援情報を提供しながら、頻繁に面会しながら情報をもらっている。家族とも密に連携とりながら、病院等のケースワーカーとも情報交換を行うようにしている。</p>		
33	12	<p>重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	<p>疾病の重度化や終末ケアについては、本人家族に入居時に説明し、重要事項説明書の中に重度化し重篤な状態になったら医療をお願いすることを明記、了解取るようにしている。</p>	<p>入居の際に本人、家族にホームの方針を説明して同意書をもらっている。職員体制、力量等考慮したうえで重度化や終末期に向けた指針を作成している。</p>	
34		<p>急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	<p>急変や事故発生時については、職場研修などを通じて勉強会等実施、主治医への連絡や、管理者等への連絡についても、打ち合わせで確認している。</p>		

鹿児島県 グループホームあおいの家

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
35	13	<p>災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	<p>火災に対する総合訓練などを通じてホームからの避難訓練している。水害等の避難については移動問題ある為、緊急避難は隣接の民宿2階を使用できるようお願いしている。</p>	<p>年2回、夜間想定で避難訓練を行っている。地域との協力体制については今後、運営推進会議でも話し合う予定である。</p>	<p>火災や水害などあらゆる場面を想定して、地域の協力体制を築けるような今年度の取り組みが期待したい。</p>

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	人生の大先輩であることを認識しながら、その人の想いを大切に失敗などにも優しい声かけとプライバシーを尊重しながら、混乱を招かないように支援している。	誇りやプライバシーを損ねないように、個々に合った声かけや排せつの誘導など配慮している。	
37		利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	利用者の思いや、希望を本人の口から出ないときは、表情や行動の中から推測したり、声掛けの中で自己決定してもらっている。		
38		日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	一日の生活について原則日課を決めているが、入居者一人一人のペースの中でゆったり過ごせるように配慮している。		
39		身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している	その人の好みなど考慮しながら、理容美容については希望する店があれば連れて行っている。経済的な面もあり、施設内で済ますことがある。		
40	15	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	加齢と共に、今まで出来ていた方も一緒に出来なくなり、食材の準備も難しくなっている。食事内容も家庭的なものが大半であるが、食事を楽しんでもらっている。出来る方には後かたづけをお願いしている。	竹の子の皮むき、つわやきぬさやの下ごしらえなど、出来ることは手伝ってもらっている。また、梅干しのおいしい食べ方や調理方法を教わるなど、個々の力量を活かした支援を行っている。コーヒーが好きな利用者もあり、嗜好に合わせた支援もしている。	

鹿児島県 グループホームあおいの家

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		<p>栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている</p>	<p>食事や水分摂取量などチェック記録し、水分は朝昼のお茶の時も確認している。年1回は栄養士にバランス見てもらっている。状態によってはきざみ、おかゆなどで対応している。</p>		
42		<p>口腔内の清潔保持</p> <p>口の中の臭いや汚れが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている</p>	<p>毎食後、全員に声かけ、出来る方は自分で義歯など歯ブラシを使って洗浄してもらい、出来ない方はうがい、義歯洗浄支援して口腔ケア行っている。</p>		
43	16	<p>排泄の自立支援</p> <p>排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている</p>	<p>入居者の排泄パターンを把握し、ケースによっては2時間おき位にトイレ誘導して介助している。大半の方がリハビリパンツ着用しており、介助見守りの必要な肩はプライバシーに留意しながら支援している。</p>	<p>こまめなトイレ誘導による排せつの自立に向けた支援を行っている。又、行動による排せつのサインを把握してトイレ誘導するなどしている。</p>	
44		<p>便秘の予防と対応</p> <p>便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる</p>	<p>食事内容についても色々工夫している。水分補給についても留意し、動ける範囲の運動も行っている。主治医とも連携しながら状況によっては薬によるコントロールしている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
45	17	入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している	入浴は週3回で現在は午前中としている。利用者の状態によってはシャワー浴するなど柔軟に対応し、入浴時間等決めてあることで特に不満等出ていない。個々に応じた支援も検討する。	入浴は週3回午前中としているが、利用者の希望や状況に合わせて柔軟に対応している。夏場は、シャワー浴で毎日の入浴の支援を行っている。	
46		安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	入居者の体調なども考慮しながら、本人のリズムに合わせた支援で休憩、睡眠などしてもらい、自らリズム作りできない入居者には声掛け誘導しながら個々に合わせて支援している。		
47		服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	個々の服用薬品について個人台帳にも綴り、用法用量などの確認と日々の服用についての支援、ケースによっては口に入れてやり服用確認している。様子確認も継続している。		
48		役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	自分でやれることは役割としてお願いしている。自分の存在感を認識してもらうようにしているが、無理強いしないようにしている。又自分の役割を他人がやるとトラブルこともあり、見守り必要である。		
49	18	日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	天候にもよるが、入居者の気分や体調を見ながら、季節の花を見に行ったり、調子がよければ散歩に出たりと、特別計画になくとも臨機応変に支援している。	日常的な散歩はホームの裏にある公園に行くことが多い。又、海を見に行ったり、寺山公園までのミニドライブに出かけることもある。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		<p>お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<p>自らお金を管理できる方は少なく、少額であるが所持してもらっている方もある。買い物など必要に応じて渡している。</p>		
51		<p>電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している</p>	<p>電話を希望される方にかけてやり、話してもらったり、又かかってきた電話は居室に子機を持って行き話していただいている。手紙を希望される方には、はがき等書いてもらうようにしている。。</p>		
52	19	<p>居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を取り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>共用の場が利用者にとって、居心地良く過ごせているか思いや表情を観察しながら、光や音など調整し、冬の乾燥期は加湿器など使用、温度管理している。テーブルには季節の花を飾り、季節感取り入れている。</p>	<p>玄関、リビング、廊下、など全体的に広く作っており、木目調で温かい雰囲気がある。テレビの前に座り心地のよさそうなソファがあり、居心地良く過ごせるような工夫がされている。</p>	
53		<p>共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>テーブルでの隣通しの話しや、一人でゆっくりテレビを見たり、玄関に出て外気浴したりと自由にマイペースで過ごしてもらっている。</p>		

鹿児島県 グループホームあおいの家

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
54	20	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	居室には馴染みの物や使っていた椅子など持込、神棚なども置き、自分の部屋として安らげる場になるようにプライバシーに配慮、居心地良く過ごせるようにしている。	居室は広く、基本的には備え付けはないので、使い慣れたものや好みのものが持ち込まれ、居心地良く過ごせる居室になっている。ベッド、タンス、椅子、テーブル、テレビ、仏壇など持ち込まれ、その人らしい居室が工夫されている。	
55		一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	バリアフリーの施設の中で、介助の必要な方も少しの介助で行動できるように、トイレや浴室など手すりや補助具使用している。必要に応じて個別に設備を整備し、できるだけ自立した生活に配慮している。		

アウトカム項目

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23,24,25)		1 ほぼ全ての利用者の
		○	2 利用者の2/3くらいの
			3 利用者の1/3くらいの
			4 ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18,38)		1 毎日ある
			2 数日に1回程度ある
			3 たまにある
			4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)		1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目：36,37)		1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)		1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない

61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30,31)	1	ほぼ全ての利用者が
		2	利用者の2/3くらいが
		3	利用者の1/3くらいが
		4	ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らせている。 (参考項目：28)	1	ほぼ全ての利用者が
		2	利用者の2/3くらいが
		3	利用者の1/3くらいが
		4	ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9,10,19)	1	ほぼ全ての家族と
		2	家族の2/3くらいと
		3	家族の1/3くらいと
		4	ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9,10,19)	1	ほぼ毎日のように
		2	数日に1回程度ある
		3	たまに
		4	ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	1	大いに増えている
		2	少しずつ増えている
		3	あまり増えていない
		4	全くいない

鹿児島県 グループホームあおいの家

66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11,12)	1	ほぼ全ての職員が
		2	職員の2/3くらいが
		3	職員の1/3くらいが
		4	ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	1	ほぼ全ての利用者が
		2	利用者の2/3くらいが
		3	利用者の1/3くらいが
		4	ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	1	ほぼ全ての家族等が
		2	家族等の2/3くらいが
		3	家族等の1/3くらいが
		4	ほとんどいない